

# 岩柳・周南

岩国総局 ☎0827(2)6780 FAX(2)7745  
柳井支局 ☎0820(2)0247 FAX(2)0012  
玖珂支局 ☎0827(8)0256 FAX(8)0001  
大島支局 ☎0820(7)0212 FAX(7)0005

## かわら版編集長21年引退

### 柳井町並みを守る会国森さん



「町並みかわら版」を広げ、武居さんへ思いを話す国森さん

## 86号刻み若い会員に託す

柳井市の住民団体「白壁の町並みを守る会」で、会報「町並みかわら版」の編集長を21年間務めた国森重彦さん(80)＝同市柳井津Ⅱが今春、引退した。会には残るが、高齢となり「代替わりの時期」と決めた。まちづくりへの思いを込め、紙齢のバトンを後任へつないだ。(山本祐司)

4月の86号まで毎回紙面を編集を考え、集まった原稿を整えた国森さんは「守る会の活動を広く知ってもらい、町並みの魅力を発信し

いた。

守る会は、市中心部に残る白壁の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定されるのを後押しする目的で1979年に設立。83年に創刊した会報は、町並みが重伝建に選ばれた後、85年で発行が止まっていた。

国森さんは広島での会社勤めを終え、97年の帰郷をきっかけに入会。仲間と町

## まちのポート 駅直近に移転

### 周南の魅力発信



周南市の周南観光コンベンション協会はJR徳山駅近くのみなみ銀座に観光案内所「まちのポート」を移転オープンした。再開発事業に伴って同じ商店街にあ

多彩な土産物を扱う  
まちのポート



から徒歩30秒の魅力を再び発信する。観光や飲食を提供し、地酒土産物も販売する同協会が事務31日に移転後、ワークシヨップ花を使ったフラジメントで午前2時の2回。各は先着4人。参加を含め150代☎0834(2)24。

## 島の木造校舎スケッチで

### ふるさと大島学習館 年表や校歌展示



周防大島町小松のふるさと大島学習館で、いまでは町内で見られなくなった木造校舎をスケッチや年表を使って紹介する企画展が開かれている。8月28日まで。会場には、統合された屋代小や油田中のほか、14小

学校と8中学校を紹介するパンフレットを並ぶ。スケッチ島出身の画家、さんの画集「想校舎」に掲載の60年ほど前にな代姿を描いた

並みを生かしたまちづくりを進めようと2000年に会報を再開した。

前身を引き継ぐ形で9号から始め、年4回発行。四季折々の活動報告や、郷土史家が寄せる連載をA4判6〜8ページにまとめた。会員に配るほか、市内の各施設に置き、旅行者へ送ってPRした。国森さんは「ライフワークと思い一生懸命やっただけ」と話す。

## 柴田智子さん



キジバトは日本各地の山野や市街地で見ることができ身近な鳥です。四季のある日本を暮らす鳥としては珍しく、食べ物豊富な春夏だけ

## んぐん育ったヒナ

### キジバトの繁殖



孵化10日後のキジバトの親子

間雄と雌が交代で温めます。そろそろ孵化予定日かなと親鳥のおなかの下を見ると、黄色い産毛がまばらに生えた、目の開いていない弱々しいヒナが2羽いました。

ヒナの食べ物、孵化後約1週間は「ピジョンミルク」と呼ばれる液状のものです。親鳥の嚙嚙と呼ばれる、喉の奥にある消化器官の一つで作られます。このペアにとって

出すほど大きくなります。この頃から親鳥がいななくても平気で抱いていなくても平気で成長しました。その後には巣を離れ、親鳥へ物をもらいながら徐々に力が増えて、独り立ちしました。

初めての子育てで、うまく世話ができるか心配でした。しかし孵化の翌日、ヒナの嚙嚙に親鳥からもらったピジョンミルクが入っていることが外から触って確認できたので、親鳥に任せることにしました。

今回は人間をそれほど心配しなくていい親鳥のおかげでヒナが安心して育ちました。